

# 基本計画の推進のために

地方分権の進展、少子高齢化による社会構造の変化や市民の価値観・ライフスタイルが変化するとともに、情報通信技術や交通手段の発達によって市民の生活圏や地域の経済圏が行政区域を越えて拡大し、都市自治体が対応すべき新たな行政課題や多様化する行政需要が増大しています。また、今日の厳しい財政状況にある中、都市自治体自らの責任と創意工夫のもと、質の高い多様な行政サービスの提供や、魅力ある都市づくりを展開するため、地域社会を構成する多様な市民と行政の果たすべき役割を明確にするとともに、都市の持続的な発展を実現するための強固で安定的な行財政基盤の確立や、より一層の効率的で効果的な行財政運営を行うことが必要となっています。

本市は、将来都市像『未来への創造 “夢ある都市” 「元気な各務原市」の発展』の実現に向け、『知恵あるたくましい市役所』を構築するとともに、全市民、企業、行政が一丸となり夢に向かってたくましく努力していきます。

そのため、次に掲げる方策に基づき、6つの都市戦略で取り組む諸施策を積極的かつ効果的に展開します。

## 1 市民との協働によるまちづくりの推進

### (1) 協働によるまちづくりの推進

- 市民のまちづくりに対する活動を促進するため、情報の積極的な提供や活動の場の整備を進めるとともに、市民が主体的に参画できる仕組みの整備に努めます。
- まちづくりの企画・計画段階からの市民参加やパブリックコメント制度の充実などにより市民ニーズを的確に把握します。
- 市民公益活動を担う人材やNPOを育成・支援するなど、地域での自主的なまちづくり活動を促進します。

### (2) 地域・コミュニティ活動の推進

- 地域・コミュニティ活動の活性化を図るため、地域の自主性を尊重し、市民が主体となった地域づくり活動を支援します。

## 2 都市経営力の強化

### (1) 行財政改革の推進

- 目標を明確にし、施策の選択と集中による事務事業の見直しを行うとともに、進行管理を徹底し、効率的で効果的な施策の展開を図ります。
- 社会情勢の変化や市民ニーズに的確かつ柔軟に対応できる簡素で効率的な行政組織づくりを継続的に進めます。
- 民間委託、指定管理者制度、臨時・嘱託職員の活用など業務内容に応じた体制にするとともに、長期的な視点に立った職員採用など、適正な定員管理を行います。
- 時代に即した人事給与制度を確立するとともに、多様化する行政課題に対応できる柔軟な発想と広い視野を持ち、政策形成能力や行政経営能力を備えた職員を育成するため、職員研修を充実し、職員のマンパワーの育成・強化に努めます。
- 公平かつ適正な課税、納税機会の拡大や安定的で適正な収納を図るとともに、市が管理する財産の有効活用及び使用料・手数料の適正な受益者負担など、自主財源の確保を図ります。
- 健全な財政運営を行うために、中期的視野に立った財政計画を策定します。

### (2) 都市マネジメント機能の強化

- 限られた経営資源を、真に必要なサービスの提供に集中化・重点化させ、より効率的で効果的な行財政運営を行うため、施策や事務事業の企画、執行、評価、改善の一連のサイクルに基づいて、全市一丸となって、持続的に発展していくマネジメントシステムの強化を図ります。
- 民間企業の発想や経営手法を行政運営に取り入れ、コスト意識とスピード感を持った市政運営を進めます。
- 各事業部門が経営方針を持ち、それぞれの権限と責任のもとに、自らの創意工夫により限られた経営資源を有効に活用し、様々な施策・事業を展開します。

## 3 広域連携の推進

### (1) 広域体制の強化

- 各都市の特性を生かした機能分担を踏まえながら、行政区域を越えて形成される生活経済圏の地域住民や民間企業、都市自治体と連携し、広域的な行政の充実と効率化を進めます。
- 関係都市の連携・協力のもと、行政課題にあった広域事務共同化の推進や共同処理システムの整備を進めるなど、人件費や施設整備費のコスト縮減などスケールメリットを活かした効率的・効果的な行政運営体制の整備を進めます。

### (2) 広域ネットワークの形成

- 交通ネットワークをはじめ、行政サービスシステム、観光ルートや情報ネットワークなど新しい時代にあった広域ネットワークの整備、交流機会の拡充に努めます。